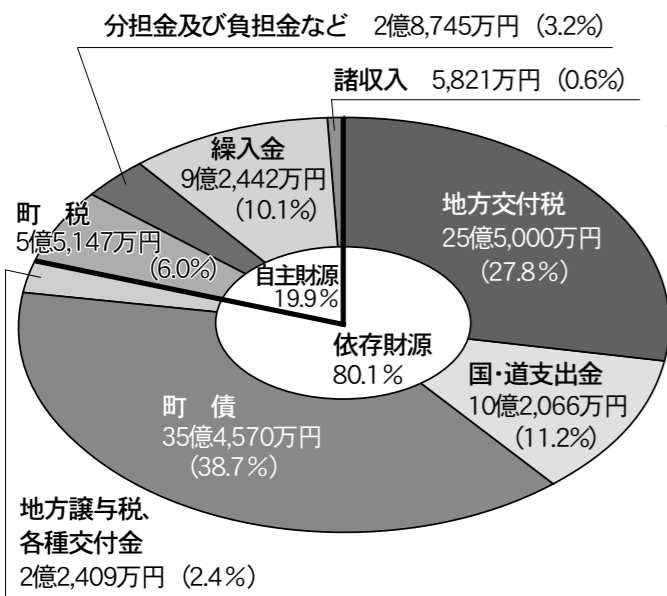
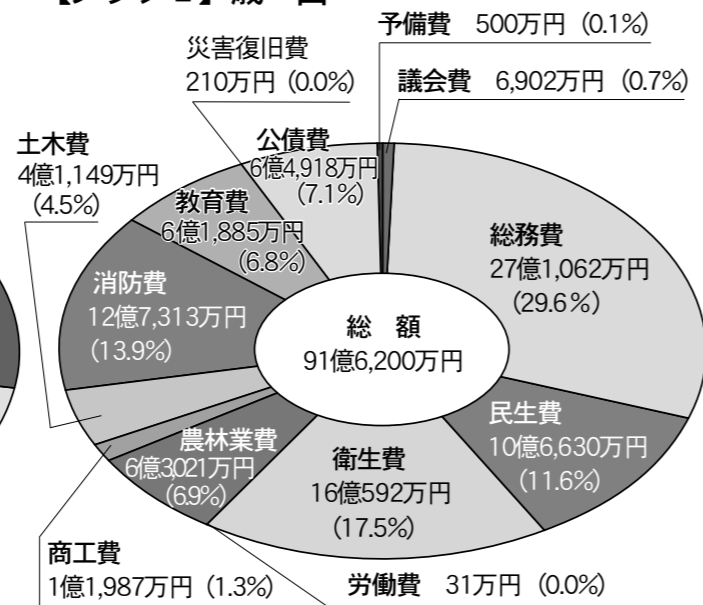


一般会計予算額の科目別内訳

【グラフ1】歳入



【グラフ2】歳出



【表2】町民1人当たり予算額 (一般会計分) 2,003,061円

※令和2年2月末現在の住民基本台帳人口4,574人で計算しています。

議会費	15,091円	総務費	592,615円	民生費	233,122円	衛生費	351,097円	労働費	67円	農林業費	137,781円	商工費	26,206円
土木費	89,963円	消防費	278,341円	教育費	135,297円	災害復旧費	459円	公債費	141,929円	予備費	1,093円		

次に、右上のグラフ2は歳出を科目ごとに表しています。総務費では、庁舎等建設事業を含め、前年度比148.0%増の27億1062万円を計上しました。

歳出 総務費は148%の増

一方、自主財源のうち町税は町民税の法人税割の減等を見込み、前年度比2.2%減の5億5147万円を計上。繰入金は一般財源の不足を補うため9億2442万円を計上しました。

上の表2は、今年度の一般会計の予算額を町民一人当たりで割り返した金額です。町民4574人(令和2年2月末現在の一人当たりの金額は、200万3061円となり、それぞれの科目に振り分けられた予算は、まちづくりや皆さんの暮らしに役立てられます。

町民 町民一人当たり予算 200万3061円

一般会計予算額を科目別に見たのが上の円グラフで、歳入は左上のグラフ1です。国から交付される地方交付税が25億5000万円(前年度比2.0%増)で、歳入の27.8%を占めています。町債は役場庁舎等建設事業、消防庁舎建設事業等にかかる増が大きな要因となり、前年度比32.2%増の35億4570万円を計上しました。これに国・道支出金、地方譲与税などを加えたものが依存財源といわれるもので、歳入全体の80.1%を占めています。一方、自主財源のうち町税は町民税の法人税割の減等を見込み、前年度比2.2%減の5億5147万円を計上。繰入金は一般財源の不足を補うため9億2442万円を計上しました。

民生費では、障害者総合支援事業経費等の社会福祉費、子ども・子育て支援事業等の児童福祉費に10億630万円(前年度比1.3%増)を計上。衛生費では、地域医療維持助成事業、一般廃棄物最終処分施設整備事業等、前年度比55.5%増の16億592万円を計上しました。

農林業費では、国営農地再編整備事業推進事業や新規事業の農業水利施設危機管理対策事業等の農業費、未来につなぐ森づくり推進事業等の林業費に6億3021万円(前年度比16.3%増)を計上。消防費では、消防庁舎建設事業により、前年度比260.1%増の12億7313万円を計上しました。

また、歳出の7.1%を占める公債費は、事業を実施するときに借りたお金の償還金です。

歳入 歳入の8割を占める依存財源

# 《特集》令和2年度 津別町の予算 116億7,890万円の使い道



令和2年度の町の予算が、町議会の審議を経て決定しました。予算の総額は116億7890万円、前年度比37.4%の増となりました。また、行政サービスの中心となる一般会計は、91億6200万円、前年度比51.1%の増です。今月の特集では、町の予算内容についてお知らせします。

【表1】令和2年度会計別予算額の内訳

会計名	予算額	前年度比
一般会計	91億6,200万円	51.1%増
特別会計		
国民健康保険事業特別会計	7億4,870万円	15.6%減
後期高齢者医療事業特別会計	9,710万円	7.3%増
介護保険事業特別会計	6億2,920万円	8.7%増
下水道事業特別会計	5億3,020万円	34.6%増
簡易水道事業特別会計	5億1,170万円	5.8%増
合計	116億7,890万円	37.4%増

町民の生活全般にわたる施策を行うために経理するのが「一般会計」です。複合庁舎建設等まちなか再生事業の推進に向けた施策とともに、緊急性と住民要望の高い事業を選択して予算編成を行い、その結果、本年度の一般会計予算の総額は、表1のとおり前年度比51.1%増の91億6200万円となりました。

特別会計の増減の主な要因につきましては、国民健康保険事業特別会計は保険給付費等の減、後期高齢者医療事業特別会計は後期高齢者医療広域連合納付金等の増、介護保険事業特別会計は保険給付費の増によるものです。下水道事業特別会計は、管渠等施設整備事業の増に伴う特環下水道費等の増によるものです。

一般会計 前年度比で 51.1%の増

特別会計 特別会計予算は 前年規模を上回る